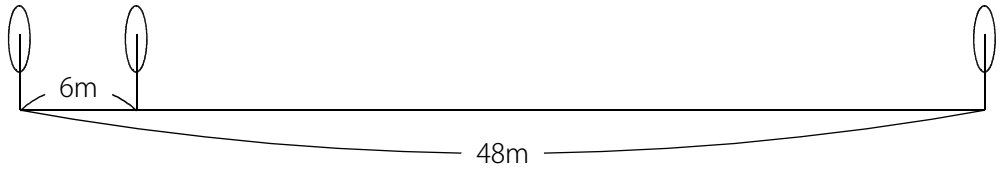
中学受験Unit.2-１　4年　植木算
植木算基礎

例題と解説

例題１

長さ48mの道路のかた側に、6mおきにはしからはしまで木を植えます。木は全部で何本必要ですか。



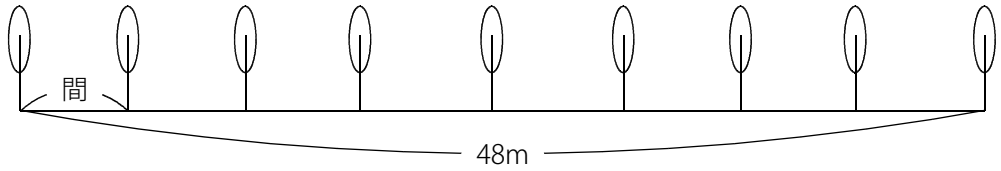
答え　9本

[例題１の解説]

間の数と**木の本数**の関係に注意しましょう。

48÷6＝8 なので 間の数は8個

両はしに木を植える場合は **(木の本数)＝(間の数)＋1** なので 8＋1＝9 (本)



例題２

ある道路のかた側に、7mおきにはしからはしまで木を植えたところ、木は全部で9本必要でした。

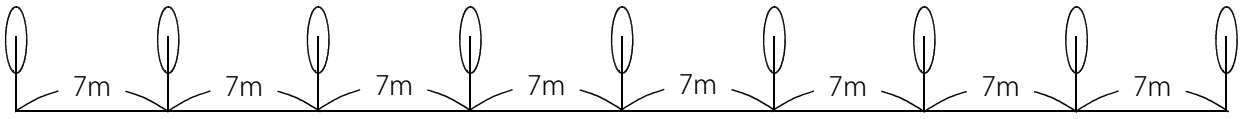
この道路ははしからはしまで何mですか。

答え　56m

[例題２の解説]

両はしに木を植えるので **(木の本数)＝(間の数)＋1**

木は全部で9本なので、(間の数)＝9－1＝8(個)。よってこの道路ははしからはしまで、7×8＝56(m)



(C) 2014 min-san.com

中学受験Unit.2- 1　4年　植木算
植木算基礎

例題と解説

例題３

長さ30mの道路のかた側にはしからはしまで同じ間かくで木を6本植えます。木と木の間は何mですか。

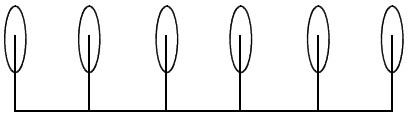
答え 6m

[例題３の解説]

両はしに木を植えるので **(木の本数)＝(間の数)＋1**

(木の本数)＝6 なので (間の数)＝5。30÷5＝6(m)

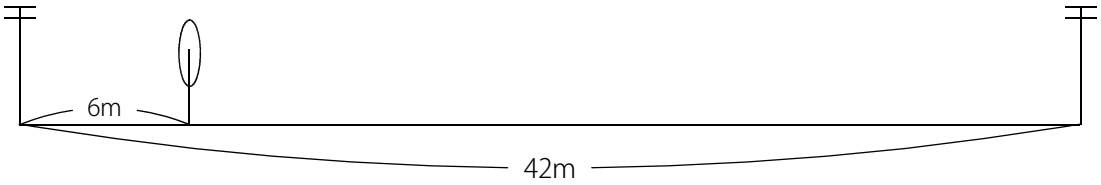
※30÷6＝5(m) としないように気をつけましょう。



例題４

長さ42mの道路のかた側の両はしに電柱が立っています。電柱と電柱の間に6mおきに木を植えます。

木は全部で何本必要ですか。



答え 6本

[例題４の解説]

両はしに木を植えない場合は **(木の本数)＝(間の数)－1**

(間の数)＝42÷6＝7 なので (木の本数)＝7－1＝6(本)

図を書いて数えてみましょう。

(C) 2014 min-san.com

中学受験Unit.2-１　4年　植木算
植木算基礎

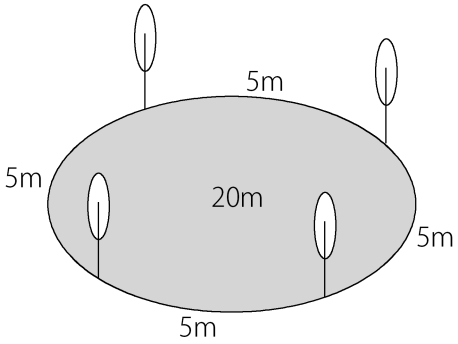
例題と解説

例題５

周りの長さが20mの池があります。この池の周りに5mおきに木を植えます。木は全部で何本必要ですか。

答え 4本

[例題５の解説]
池の周りに木を植える場合は **(木の本数)＝(間の数)**
(間の数)＝20÷5＝4 なので (木の本数)＝4(本)

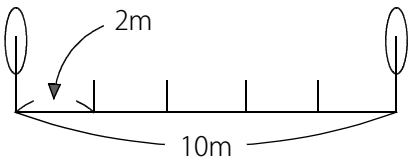


例題６

長さ60mの道路のかた側に、10mおきにはしからはしまで木を植えます。さらに木と木の間には2mおきにくいを打ちます。木とくいはそれぞれ何本必要ですか。

答え 木：7本 , くい：24本

[例題６の解説]
両はしに木を植えるので **(木の本数)＝(間の数)＋1**
(木と木の間の数)＝60÷10＝6 なので (木の本数)＝6＋1＝7(本)



木と木の間は10mなので、(くいとくいの間の数)＝10÷2＝5
両はしにくいはないので、それぞれの木と木の間にくいは 5－1＝4(本)
(木と木の間の数)＝6 なので、4×6＝24(本)

(C) 2014 min-san.com

中学受験Unit.2- 1　4年　植木算
植木算基礎

例題と解説

ポイントまとめ

・両はしに木を植える場合　(木の本数)＝(間の数)＋1
・両はしに木を植えない場合　(木の本数)＝(間の数)－1
・池の周りに木を植える場合　(木の本数)＝(間の数)
・おぼえるのではなく、はじめは図を書いて数えてみましょう。

(C) 2014 min-san.com